

日本地質学会 2014 年度第 4 回理事会議事録

日 時：2015 年 4 月 4 日（土） 13:30-17:20

会 場：北とぴあ 902 会議室（9 階）（東京都北区王子 1-1）

出席役員 理事(33 名)：天野一男 安間 了（14:20 出席）市川八州夫 井龍康文

ウォリス サイモン 上砂正一 小山内康人（15:00 退出） 海野 進 緒方信一 笠間友
博 亀尾浩司 川端清司 川辺文久 小嶋 智 小宮 剛 斎藤 眞 佐野弘好 菖蒲幸
男 杉田律子（16:00 出席） 高橋正樹 竹内 誠 内藤一樹 中澤 努 奈良正和 久田健
一郎（16:15 出席） 廣木義久 松田達生 松田博貴 向山 栄 矢島道子 山路 敦 山本
高司 渡部芳夫

監事(1 名)：青野道夫（15:00 退出）

欠席役員 理事(17 名)：有馬 眞 安藤寿男 清川昌一 後藤和久 坂口有人 榊原正幸 佐々木和彦
沢田 健 竹下 徹 千代延俊 原山 智 平田大二 星 博幸 保柳康一 三次徳二 宮田隆
夫 山田泰広

その他出席者 事務局：橋辺菊恵

*成立要件：理事総数 50 名の過半数 26 名 本日の出席者 33 名 で本理事会は成立。

*議決：出席者の過半数 17 名

*書記 2 名の選出：内藤一樹 向山 栄

報告事項

1. 12 月理事会以降、1 月、2 月、3 月執行理事会要点ほか（斎藤常務理事）

会議内容について要点が報告された。

2. 理事および委員会報告

1) 運営財政部会報告（緒方理事）

- ・ 前回理事会以降に逝去した会員（名誉会員 3 名，正会員 9 名）に対し黙祷を捧げた。
- ・ 会員動静 2015 年 3 月末の会員数は，賛助 27 社，名誉会員 61 名，正会員 3644 人（院生割引 167 名，学生割引 15 名含む）となり，会員の減少が続いている。2019 年度までの会員数および年齢構成の予測が報告された。

2) 学術研究部会

・ 行事委員会報告（竹内理事）

122 年学術大会（長野大会）のシンポジウム・トピックセッションについて報告された。

・ 国際交流委員会（ウォリス理事）

ロンドン地質学会と Associate Society になること，ヴェトナム地質学会とは，MOU 締結について検討を進めていることが報告された。

3) 編集出版部会

・ Island Arc 編集委員会報告（海野理事）

編集状況について報告された。

- ・地質学雑誌編集委員会報告（山路理事）

編集状況について報告された。

4) 社会貢献部会

- ・地学教育関連（廣木理事）

文部科学大臣・中央教育審議会に対して「次期学習指導要領改定に関する要望」を送付したこと、大学入試センターに対し「地学関連科目に関する申し入れ」についての意見を集約中であることが報告された。

- ・ジオパーク支援委員会（天野理事）

今後、JGC 事務局体制の変更が見込まれることが報告された。ジオパーク推進のための国会議員による議員連盟が結成され、ジオパークの在り方も変わる可能性があるため、学会としての支援の在り方も再検討しなければならないこと、ジオパークがユネスコの正式プログラムになる見込みであることが報告された。

5) 県の石選定委員会（川端理事）

委員会での審議の経過と、9月の理事会での審議を目指したスケジュールの再検討について報告があり、これらを了承した。当初の予定より大幅に遅れているため、外部からの問い合わせもあることなどから、選定の作業状況をHPに掲載する。

6) 機関リポジトリに関わる問題について、法務委員会の答申案（上砂理事）

機関リポジトリに関わる問題について検討した法務委員会の答申が報告された。これを受け、今後は答申に沿った投稿規則の適切な改正を法務委員会に依頼することとした。

3. その他

1) 地学オリンピックについて（久田理事）

国際地学オリンピック日本大会開催に向けて、特に募金活動の現状および今後の活動予定が報告され、協力要請がなされた。

審議事項

1. 運営規則改正（斎藤常務理事）

- ・運営規則第16条の改正について、原案通り拍手により承認された。
- ・現在検討中のこととして、理事の欠員補充に関する選挙規則第5条10項の改正について意見交換を行なった。理事に欠員が出た場合、定数の範囲内である場合には補充を行わないという案に対して、階層の代表という意味を重視して速やかに補充すべき、次点得票者を、総会を開かずに自動的に繰り上げるように選挙規則の変更を検討すべき、支部における選挙事情を考慮すべき、などの意見が出され、2016年5月総会での議決を目途として議論を継続することとした。

2. 各賞受賞者の選出（中澤理事）

日本地質学会賞1件、同 小澤儀明賞1件、同 Island Arc 賞1件、同 論文賞2件、同 小藤文次郎賞2件、同 研究奨励賞1件、同 功労賞1件、日本地質学会表彰1件について原案通り拍手により承

認された。柵山雅則賞および小澤儀明賞については、区別することなく議論し、受賞が決まってからどちらが適切か決められること、および国際賞については推薦がなかったことが確認された。

3. 名誉会員候補者の選出（山本理事）

齋藤靖二会員、鈴木堯士会員の2名を名誉会員候補者として推薦することが報告され、承認された。鈴木会員の推薦文については、内容の一部を再確認することとした。

4. 2014年度事業報告（齋藤常務理事）・決算概要（緒方理事）

事業報告および決算について、提示案に沿って整理して総会に付議されることが承認された。今年度の収支については、繰越金を減少させることで引当金の取り崩しを抑えたことなどが説明された。

5. 2015年度事業計画（井龍会長）・予算案（緒方理事）

前年度に続き、財政見通しが非常に厳しいことが説明された。今後は、会員の減少対策として、20才代の若い会員の新規獲得および地方支部などでのCPD取得可能行事の活性化による社会人会員の引き止めなどの努力が必要、支部活動においても、活動の抑制ということではなく、できるだけ増収を図りつつ活動されることが望ましい、などの意見交換がなされた後、事業計画および予算案は原案通り拍手で承認された。

6. 125周年記念行事について（矢島理事）

事業の基本構想およびスケジュールについて、125周年記念事業検討委員会の検討結果が報告された。方向性としては概ね了承されたが、具体的な事業案については、9月の理事会において実行委員会へ引き継ぐことを目途として、引き続き検討委員会で検討を進めることが要請された。

7. 総会議案について（齋藤常務理事）

総会は5月23日、14時50分～15時50分の開催とし、議案は原案通り拍手で承認された。

以上

2015年4月21日

一般社団法人日本地質学会

理事会議長 榊原正幸

副議長 小嶋 智

代表理事：会長 井龍康文

以下役員氏名省略